

FRONT LINE

●趣味車のマストアイテム

水分を含まない世界唯一のクーラントとは

text: Car MAGAZINE(編集部)
photo: Yasuhiro YOKOSAWA(横澤靖宏)
取材協力: エバンスジャパン(phone: 03-5777-1616)



水冷エンジンという名称が示すように、クルマやモーターサイクル用のエンジンの多くは冷却を施すため、水、または水で希釈したクーラントを使用している。だが、それらエンジンに使われている金属の錆や腐食を考えれば、水を入れたくないという思いもある。

エバンスジャパンが発売しているウォー

EVANS WATERLESS ENGINE COOLANT

●エバンス・ウォーターレス・エンジンクーラント

エバンスの製品は4種類が揃う。左からディーゼル車用のヘビードューティ(3.77ℓ 1万9500円+税)、四輪車用のハイパフォーマンス(3.77ℓ 1万8600円+税)、洗浄液のプレップフルイド(3.77ℓ 1万4500円+税)、そして二輪車用のパワースポーツ(1.89ℓ 1万2000円+税)。



ターレスクーラントはその名の通り水分を含まない世界で唯一の無水クーラントである。ゆえに水が原因で起こる冷却システムの材質的な経年劣化にも、数多くのメリットが確認されている。

一般的なクーラントと違って沸点が190°Cと高いのでオーバーヒートに強く、無水がゆえに熱伝導率を妨げる水蒸気が発生しない。このため冷却系の内部圧力がほとんど上がらず、ホースやシール類に対しての圧力負荷がかからないというメリットもある。

一般的なクーラントは水の酸化によって腐食が引き起こされ、エンジン(金属)をさらに損傷させる電解作用も起こりえる。ところが水分を含まないエバンスウォーターレスクーラントは長期間の使用に耐え、オールシーズン、寒冷地から熱帯地まで安定した冷却性

能を発揮してくれる。

エバンスウォーターレスクーラントの優れた効果はあらゆるクルマで確認することができる。中でも特にガレージの中で眠っている時間が長いヒストリックカーにとって最適なクーラントであるという結論が導き出されるはずである。

エバンスウォーターレスクーラントに交換する場合は、まずプレップフルイドと呼ばれる専用の洗浄液を使用する。こうして冷却系統から可能な限り水分を排除したあと、主材を注入するのである。これらの作業はエバンスのHPに掲載されている取扱店で行うことが可能になっている。

世界唯一の無水クーラントの存在は、愛車の信頼性と寿命を確実にアップさせてくれるはずである。